

当地パラナ・オンライン紙(電子版)は、クリチバ市セントロ地区において発砲事件が発生した旨報じているところ、概要を以下のとおり、お知らせ致します。

1 8月18日(月)午前5時頃、クリチバ市セントロ地区クルス・マシャド通り(Rua Cruz Machado)の交差点において、27歳のブラジル人男性が徒歩で移動中、不審な黒色の車が同男性に近付き、何者かが車内から発砲したところ、銃弾2発が同男性の胸部に命中した。犯人はそのまま車で逃走し、同男性は間もなく死亡した。

2 8月19日(火)午後11時頃、クリチバ市セントロ地区マレシャル・フロリアノ・ペイショット通り(AV.Marechal Floriano Peixoto)と11月15日通り(Rua XV de Novembro)の交差点付近を21歳のブラジル人男性が徒歩で移動中、突然、車から降りてきた不審者3名が同男性を囲み、けん銃を発砲したところ、同男性の顎を貫通した。

被害者は重傷を負ったが、幸いパトロール中の市警備(Guarda Municipal)に救助され病院へ搬送された。なお、被害者は撃たれた理由について心当たりはないと述べている。

#### <当館からのお願い>

- ・どちらの事件も被害者は単独で移動していました。早朝や深夜等の人通りの少ない時間帯の一人歩きは大変危険ですので極力控えるようお願い致します。
- ・万が一このような事件の被害に遭われた場合は、速やかに軍警察(Polícia Militar、電話番号190)に一報するとともに、被害届を最寄りの文民警察(Polícia Civil、電話番号197)に提出することが事件発生現場の巡回強化や捜査等にも繋がるため、非常に大切であるとのこと。
- ・被害拡大防止のため、在留邦人等の皆様と(個人情報をおふせした上で)情報を共有するためにも、当館(担当:警備班・領事班)へご連絡いただければ幸いです。